

飯山市教育懇談会（常盤小学校区）発言要旨

平成25年8月27日（火）常盤小学校

- ・児童が減少傾向にあり、PTA三役の選考方法を変える必要がある。H31年には児童数が70名まで減少する。将来、市では小学校の統合を考えているのでしょうか。
- ・児童が減少すると「競い合う」という気持ちが落ちてくるのでは。少人数教育もよいが、あの子が頑張っているので、僕も私も頑張るという気持ちが大切で、ある程度の規模の学校、学級を維持していくのが良いと思う。
市として小学校統合の準備を今から考えたほうが良いのでは。
- ・小規模校、大規模校、それぞれメリット・デメリットがある。学校は学力をつけるのが一番の使命。学力だけで考えた時、小規模校と大規模校、また学校数はどの位が良いのか、教育委員会の考えをお聞きしたい。
- ・児童数減少は非常に寂しい。先日地区運動会があったが、仮に小学校が統合になっても常盤地区は元気にやっていけると感じた。若い人達が戻ってきて、子ども達を増やす環境作りが大切だと感じた。

（長瀬教育長）

学校の適正規模とは、文科省では1学年で2クラス以上と言われているが、私は地域によって適正規模は違うと思います。少なくとも1学年二桁の児童がいる場合は、やり方でしっかりと教育ができると考えています。個人的には児童数100人前後の学校の統合は考えていません。10年先・15年先もこのままで良いとは思っていません。また、地域の皆さんが自分たちの学校をどう支援していくかが大切だと考えています。

- ・児童が減少しても、地域で育てしっかり支え、常盤の子ども達を育てていくことが大事。少人数になればなるほどコミュニティースクールが大切。私達も真剣に考えていく必要があると改めて感じた。

- ・統合等に関しては、専門家の考えだけでなく、保護者、市民の皆さんの意見を聞いて結論を出していただきたい。社会にでると競争する場面がでてくる、少人数だと不安がある。
- ・H31年度の数値が出ているので、それを元に飯山市の適正規模をどのようにするのか、特に100人を下回っている学校をH31年度以降、どういう姿で残すのか具体的に説明があったほうが地域・保護者としてわかりやすい。
- ・統合ありきだとうまくいかないと思う。これまでは、学校がなくなると地域が廃れる、というのがこれまで教育委員会の考えだと思う。しかし、このことは地域の努力で補えると思う。子ども達を地域の犠牲にしてはならない。教育委員会に臨機応変に対応して欲しい。必要なところから統合して欲しい。この教育懇談会で出た意見を尊重して対応して欲しい。
- ・木島平で統合した学校の情報が入ってこないなので情報を知りたい。
- ・児童数を増やす計画、減少を止めるという市独自の計画はありますか。

(長瀬教育長)

「飯山では安心して子どもをきっちり育てられる、飯山ではちゃんと子供の事を考えた教育をしている」ということをしっかりつくり上げるのが第一だと考えています。具体的には子育て支援、医療補助、住みやすい住宅等の施策を展開しています。飯山では本物の教育をしていると学校でつくり上げる事が重要だと思います。

- ・先日の新聞記事をみた、先生方の研究が研究のための研究でなく、子どもの事を考えた研究で素晴らしい。忙しい中でこのような研究は素晴らしい。また先生方が積極的に地域を学ぶ姿も地域住民として嬉しい。